

福生市教育委員会会議録

平成26年第7回定例会

- 1 開催年月日 平成26年7月25日（金）
- 2 開始時刻 午前10時00分
- 3 終了時刻 午前10時28分
- 4 場 所 第二棟4階 第1委員会室
- 5 出席委員 委 員 長 平 野 裕 子
委員長職務代理者 渡 辺 浩 行
委 員 徳 永 喜 昭
委 員 加 藤 孝 子
教 育 長 川 越 孝 洋
- 6 欠席委員 なし
- 7 出席者氏名 参事兼指導室長 石 田 周
参事兼学校給食課長 鳥 越 裕 之
庶務課長 町 田 和 子
生涯学習推進課長 高 橋 清 樹
スポーツ推進課長 横 倉 成 昭
公民館長 萩 原 晴 男
図書館長 柿 田 芳 久
主 幹 長 谷 川 智 也
指 導 主 事 森 保 亮
- 8 傍聴人 1名

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第30号 平成26年度スプリングスクール実施報告について

日程第 4 その他報告事項

午前10時00分 開会

委員長 それでは、ただいまから平成26年第7回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、徳永喜昭委員、加藤孝子委員の両名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、教育長報告。

教育長から報告願います。お願いいたします。

教育長 おはようございます。定例会の御出席ありがとうございます。

このひと月も各学校あるいは社会教育等の行事等に相変わらずお出かけいただくことが多くございまして、御指導をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げる次第でございます。

今年も梅雨明けをいたしました。局地的な豪雨や山岳部の土砂災害等、国内の自然災害のほか、世界的に目を向けますと、命の尊さ、あるいは平和といったような問題を深く考えさせられる、そのような事案があちこちで起きている状況でございます。

それでは、本市のこの1カ月の状況について簡単に御報告申し上げます。

まず、小・中学校でございますが、1学期の終業式が予定どおり行われまして、児童・生徒は夏休みに入ったところでございます。夏休み前の校長会におきまして、私からくれぐれも児童・生徒の夏休み期間中の安全を第一に、家庭の過ごし方、この時期にしかできない体験活動あるいは家庭学習の進め方など、子どもたちにとって充実した夏休みになるよう指示をいたしましたところでございます。

また、福生市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に係る有識者による外部評価の会議については、法律の規定により、教育委員会の取組、事務事業に対する外部有識者による評価につきまして、さきに本委員会定例会において御承認をいただきました辻野具成氏と岩崎久美子氏にお越しいただきまして、教育委員会で自己評価をいたしました評価書をもとに調査と審議をお願いいたしました。

さまざまな本市の取組について高く評価をいただいたところではございますけれども、率直な御意見、あるいは、この外部評価の評価書の作成について、御指導をいただいたところでございます。この経過につきまして

は、今月下旬には両氏から評価意見をいただき、その意見を添えて最終的な市教委の点検評価書としてまとめまして、後日、委員会にお諮り申し上げたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。その後、市議会への報告という手順で進めさせていただければと思っております。

それから、海外派遣についてでございます。今年度もまた青少年の海外派遣につきまして、例年どおり事前の研修と、激励会を開催いたしましたところでございます。激励会につきましては、平野委員長から激励の御挨拶をいただき、そしてまた7月23日、出発の当日には職員及び保護者に見送られて、元気に派遣生は出発をいたしました。

本日の報告でございますが、現地シアトルの気温が18度と大変涼しいという状況でございますが、派遣生、皆無事に予定どおりのスケジュールを進めておるといことでございまして、順調でありますことを御報告申し上げます。

これまでの研修の状況から考えますと、成果を上げて、一回りも二回りも成長した姿が見られるのではないかと、大変楽しみにいたしているところでございます。この派遣につきましては、改めて派遣報告会を予定しておりますので、またぜひ御指導いただければと考えております。

それから、最後でございますが、この後の本日の案件は、予定としては大変少ない状況でございますけれども、8月3日の小学校の教科用図書の採択等、重要案件を控えておりまして、事務局も慌ただしく、その中でも正確にこの事務を進めていかなければならないと考えておりまして、委員各位からの御指導をお願い申し上げたいと思っております。

私からの報告は以上とさせていただきます。ほかの件につきましては、メモに記載をしたところでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長 教育長からの報告は終わりました。

質問がありましたら、お願いいたします。

徳永委員 先日たまたま福生病院にありましたら、二中の生徒が救急搬送されてきました。終業式の後でしたけれども、先生が付き添っておられたようで、熱中症だったと思うのですけれども、その場合の対応などはどうなっているのでしょうか。

参事兼指導室長 まず、今お話しの中二中学校の件については、熱中症ではございません。

もともと偏頭痛のある生徒で、その日も偏頭痛に伴う気持ちの悪さで、うずくまり、連絡を受けた学校が適切に判断して救急車を要請したという報告がございました。教育長、そして市長等にも安心安全まちづくり課にも、報告はしております。

後半の御質問の熱中症対策につきましては、これは5月の校長会、6月の校長会、さらには7月の校長会等で、夏季特有の症状でもありますので、その未然防止、つまり水分を適宜とるとか、そういった指導をしています。実際に第一中学校、第二中学校、第三中学校の運動会の日は大変暑かったので、いずれの学校も、演技の途中で中断して、給水を実施しました。学校も意識を高めていただいているのではないかと考えております。

以上でございます。

委員長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。

それでは、教育長報告を終わります。

次に、日程第3、報告第30号、平成26年度スプリングスクール実施報告についてを議題といたします。

指導主事より内容説明をお願いいたします。

指導主事 それでは、日程第3、報告第30号、平成26年度スプリングスクール実施報告について報告いたします。

スプリングスクールについては、中学校入学時の時期を捉え、宿泊を伴う学習を通して、福生市立中学校の生徒に自ら学び、自ら考える力の基礎となる望ましい学習習慣や、生活習慣の基礎を身につけることと、宿泊を伴う学習を通して新1年生相互や新1年生と教員との人間関係を育み、中学校生活への早期適応を図るとともに、自他を大切にしたい望ましい集団生活を送る力を身につけさせるとしております。

本年度は、福生第二中学校の4月21日からの実施を皮切りに、3校とも高尾の森わくわくビレッジにおきまして、2泊3日にて実施いたしました。委員の皆様におかれましては、当日の様子について福生第一中学校の実施日に現地に足をお運びいただき、ごらんいただきました。ありがとうございました。

資料には、期間中に実施いたしました学習状況調査の結果をお示ししております。本調査は、業者による学習状況調査を本市の1年生全員に受験させ、国語と数学の2教科で実施いたしました。平均正答率は、国語55.4%、数学62.1%で、全国平均と比べて国語は4.3ポイント、数学は6.8ポイント下回る結果となりました。

各教科において最も大きい課題であると判断した問題をお示しいたしました。国語の「とうてい」という言葉を使って、主語と述語の整った文を書きなさいという問題について、注目していただきたいところは、本市の無回答率でございます。4人に1人が無回答という結果でございます。改善を図るためには、国語の授業を中心に他の授業におけるノート指導や作文指導の際にも意識して使わせる等の指導が重要になってまいります。

数学では、円周の長さが31.4センチメートルの円の面積を求めなさいという問題でございます。円周の長さは直径掛ける円周率3.14で求められますので、逆算して直径が10センチであることから、面積を求める問題でございます。本問題の無回答率が25.5%と多く、さらに正答率も20%を切っている結果となりました。本問題は、回答を導く過程において四則演算や基本的公式など、中学校の数学を学習していくのに重要なポイントがあり、改善を図るためには、つまづいているところを正確に把握し、その部分の学び直しを行わせることが大切となります。

裏面は、実施後のアンケート結果をお示しいたしました。全体的に生徒の満足度は高く、自由記述からも規則正しい生活ができるようになった、家でほぼ毎日学習するようになったなどの意見が目立ちました。また、引率した教職員からのアンケートでは、施設が貸し切りにならないという生活指導上の難しさ等の課題はございましたが、実施の意義や効果についておおむね肯定的な回答でございました。

以上で報告とさせていただきます。

委員長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

当日の参加人数ですけれども、第一中学校、第二中学校、ともに男女7名の欠席、第三中学校3名の欠席となっています。欠席された理由はわかりますか。

指導主事 欠席した理由の多くは、体調不良による欠席となっております。小学校から引き続き不登校となっている児童・生徒につきましては、学校からの働きかけによって多くの生徒が参加できるようになっておりました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

不登校であった子が、このスプリングスクールをきっかけに参加できたというのはとてもよかったと思っております。

学習状況調査の結果は、今見せていただきましたけれども、一中、二中、三中で学校間の差というものが見られましたか。

指導主事 各学校によって、当然のことながら若干の差はございますが、極端に大きく学校によって差があるという結果ではございませんでした。

以上です。

委員長 わかりました。

ほかにもございますか。

徳永委員 見学させていただいたときの印象ですけれども、先生方が本当に大変な負担があるのではないかと思います。先生方自身もすばらしい行事だと評価されていましたので、そのことはうれしく思いました。

もう1つ思ったのは、施設の特徴が十分生かされていないのではないか、つまりアドベンチャー的ないろいろな施設があって、危険な遊びをやってみたり、そのことを通してクラスづくりをしていくとか、そのような取組を興味深く見ることもできましたが、そういった部分でのあの施設の持っている特徴が生かしていないのでは、という感じがしたのですが、その点はいかがでしょう。

指導主事 本スプリングスクール事業の目的は、当初、中学校の生活指導上の困難さから、規則正しい生活習慣や学習習慣を身につけさせることを第一の目的として実施、運用しておりました関係で、今もその目的が変わらず本年度も実施しております。ただ、今の中学校の現状が、いわゆる5年前の現状とは違っている現状でございますので、やはりその実施の目的を今後見直していかなければいけないと考えておるところでございます。

以上でございます。

教育長 補足をいたしますと、集団活動をお互い助け合いながら一つの障害を乗り越えていくような、そのようなプログラムがアメリカで開発され、導入していると施設から伺っております。先ほど徳永委員から御指摘いただきましたが、予算措置が必要になってくる場合もございますので、森保指導主事からお答え申し上げましたように、今後、この目的等を見直す、あるいは各学校が今どのような状況を必要としているのかといったようなことを議論していく必要があるだろうと考えております。今後の課題であると認識をしているところでございます。

それから、先ほど学習状況調査のことも出ておりますが、これにつきましては出身の小学校に、分析したものをお渡ししております。今後には生かしてほしいということと、中学校についてはスタートの状況でございますので、これを何とかして補完する、補修をするというような形で補ってまいりたい、そういう位置づけ、理由づけにおいて、学習状況調査を市独

自に行っているところでございます。

以上でございます。

委員長 私はスプリングスクールが子どもたちにとって良い経験になって、中学校生活のスタートが切れるものと思っておりますけれども、この施設の経営母体が今後ずっと継続してやっていくということは可能なのですか。

指導主事 今回の御質問でございますが、恐らく東京都の指定管理者で行っている運営ということで伺っております、その指定管理者の指定の入れかわる時期が本年度になっているのではないかと聞いております。その指定管理者によっては、多少運営の仕方が変わってくるということで、実際予約が平成28年度、再来年度までの予約はできております。従いまして、この運営が変わりますと、その予約のシステムが変わるのではないかという説明を受けておまして、現在は1年前の予約が可能ですがけれども、例えば5カ月前とかになってきますと、思った時期に予約がとれず、目的と合致しないということになるのか、懸念はしておりますが、今のところ28年度までは予約ができていますので、状況を見きわめながら、連絡をとりながら、持続的、継続的に実施できるよう整えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。28年度まで一応継続できるということで、その間様子もわかってくると思いますので、よろしく願いいたします。

あとほかにもございますか。よろしいですか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第30号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議なしと認めます。

よって、報告第30号は報告のとおり承認することといたします。

次に、その他報告事項について説明願います。

1番目ですけれども、平成26年度福生市特別支援学級の紹介(冊子)についてを主幹より説明をお願いいたします。

主幹 それでは、その他報告事項の1、平成26年度福生市特別支援学級の紹介につきまして御説明を申し上げます。

児童・生徒の就学に当たって心配があるとき、あるいは特別支援学級を希望されるときに、保護者の方が参考にできるようにするために、この冊

子を作成しております。

内容といたしましては、本市における特別支援学級について、各学校の固定学級、通級指導学級の教育内容等についての御説明、教育相談室、教育支援チームの相談内容の御案内、そして就学先決定までの流れ等について記載されてございます。この冊子の設置場所といたしましては、市内小・中学校、市内幼稚園、保育園、保健センター、子ども家庭支援センター、児童館、教育相談室、教育委員会指導室、そして市外におきましては羽村特別支援学校及びあきる野特別支援学校でございます。

御報告は以上でございます。

- 委員 長 去年のこの紹介の冊子と大きく変わったところは何かございますか。
- 主 幹 大きな流れについては、今回変わりはありません。ただ、文言等を精査させていただいたところがございます。
- 渡辺委員 一つお聞きしたいのですけれども、一中の8組は、今後も8組という名称ですか。そのことについてお考えはありますか。
- 主 幹 今まで長い間8組という言葉が浸透しておりまして、伝統もございませので、急に変わるということは現在考えておりません。
- 以上でございます。
- 委員 長 8組の生徒さんとか先生方から、名称を変えたいという希望は出ていますか。
- 主 幹 現在、私どもにはそういった御意見等はいただいておりません。
- 渡辺委員 これは7組までであったときの名残なのですか。
- 委員 長 そうですね。
- 渡辺委員 現在、一中は実際5組ぐらいですね。
- 参事兼指導室長 以前、学校規模が大きかった頃、7組まであって、そして特別支援教室は8組となったと思います。特別支援教育が始まる前、障害児学級というような言い方ではなくて、通常の学級と同じような呼称として8組としたと思います。どの学校も少子化に伴って学級が減っていきまして、職務代理御指摘のとおり、7組とか6組はないのだから、今年は4組、来年は5組とか、考え方としてはあると思います。ただ、8組の生徒にとって8組に誇りと愛着を持って学んできたお子さんたち、あるいはお母さんが、愛称ではないのだけれども、8組さんという言い方が浸透しているのではないかと思います。今後変更の声が上がってきた場合であるとか、あるいは第3次の特別支援教育の方針の計画を今つくっているところなので、その中での検討の一つとして御示唆をいただいたと理解し

ております。

以上でございます。

委員長 今のところよろしいですか。

渡辺委員 結構です。

委員長 ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、ほかにその他報告はございませんか。

高橋生涯学習推進課長、先ほど教育長のほうから海外派遣生の報告が少しございましたけれども、何かほかにつけ加えるような報告ございますか。

生涯学習推進課長 先ほどの教育長報告のとおりでございますが、補足としまして、ホームページに派遣先での様子をアップしております。引率者からの報告と、派遣生は1日1人の割り当てで報告をすることになっております。そちらは今後載せていく予定です。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

毎日アップしているそうなので、私たちも見ていきたいと思えます。

委員の皆さんからは何かございますか。よろしいですか。

徳永委員 派遣生の報告に対して、コメントなどはできるのですか。

生涯学習推進課長 それはできないのですが、市のトップページから見ることもできますので、ぜひごらんになってください。

また、御意見等ございましたら担当課までお願いいたします。

委員長 それでは、よろしいでしょうか。ほかにございますか。

ないようですので、その他報告事項の説明を終わります。

以上で本日の日程は全て終了しました。

これもちまして、平成26年第7回福生市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

午前10時28分 閉会